

仕様書

システム業務部

1. 件名

「委員会業務のシステム化に関する検討」の調査について

2. 目的

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、プロジェクトマネジメントにおける意思決定の透明性、公平性を確保するため、外部有識者で構成されている審査委員会や評価委員会等の各種の委員会を実施している。

これらの委員会業務を一元管理するため、委員会システムを使用しているが、動作環境の老朽化のため改修が困難な状況である。

また、2020年3月の新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け、公募に関する提案書の提出方法や審査業務を非接触とするため、公募電子化システム（以下「公募関連システム」という。）を導入している。しかしながら、複数システムの改修で急遽対応したシステムであるため、セキュリティ面や、上記の委員会システムとの連携などに改善の余地が残っている状況である。

本調査では、委員会システム及び公募関連システムをリプレイスするため、現状の業務プロセスの確認を行った上で現行業務の合理化や業務効率化並びにセキュリティの担保が図れるように課題の整理や解決策の検討等を実施する。

また、当該業務におけるシステム化構想案とスケジュール案の作成を行う。

3. 内容

(1) 現状フローの確認と課題一覧表等の作成

NEDOが提供する現行の業務フロー（As-Is）をもとに、その内容の確認と整理を行う。

また、現行の業務フローの中から課題点を抽出・整理・分類し、大項目レベルでの対策素案を作成し、(2)の調査項目の検討のための資料とする。

なお、業務フローの確認や課題点の抽出・整理・分類において、不明点等があれば必要に応じて関係部署へのヒアリングを実施できるものとする。

成果物：課題一覧表（例：重複データの排除、ペーパーレス化等）

(2) システム化構想案の作成

NEDOが提供する「委員会業務に関するステークホルダー」を考慮した上で、(1)で確認をした業務フロー及び課題一覧表をもとに委員会業務におけるシステム化構想案を1案以上作成する。

また、システム化構想をデザインするにあたり、クラウドサービスについての調査を実施し、その検討も併せて行う。クラウドサービスについてはSaaS、PaaS、IaaS等の形態を含め、メリット・デメリットについての分析を行い、比較表を作成する。

なお、比較対象のクラウドは、ISMAP を取得していることを前提とする。

成果物：システム構成図案（To-Be のシステム俯瞰図）、クラウドの比較表

(3) スケジュール案の作成

(2)の調査で得たシステム化構想案をもとに時間軸に沿って、マイルストーンを入れたスケジュール案の作成をする。

また、委員会システムに連携もしくは関係するシステムの存在が明らかになった場合は、そのシステムとの連携課題も考慮し、NEDOと協議した上で、開発スケジュール案を作成するものとする。

成果物：スケジュール案（マイルストーンが入ったもの）

(4) 報告及び取りまとめ

調査の進捗状況を隔週で報告するものとする。なお、システム化構想の検討状況及び追加資料やヒアリング実施の要望等を隔週で報告する。

また、上記調査内容の(1)～(3)についての取り纏めを行う。

4. 提供資

- ① 現行の委員会業務フロー
- ② 現行の公募関連システムの業務フロー
- ③ 委員会業務に関するステークホルダー概要図
- ④ 令和5年度版 統一基準群（セキュリティ要件）

5. 調査期間

NEDOが指定する日から 2024 年 3 月 29 日（金）まで

6. 報告書

提出期限：2024 年 3 月 29 日（金）

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

※報告書の作成にあたっては、必要に応じて非公開内容に対する報告書を作成すること。

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

8. その他

- ・NEDO側から本調査に係る資料を提供するが、その際にはこれらの資料についての複製を禁じ、かつ内容についての秘匿をすること。
- ・仕様書に記載以外の提供資料について、上記の調査の遂行において必要と認める場合は、実施事業者の求めに応じて適宜提供することが可能である。
- ・仕様書に定めなき事項については、NEDOと実施者が協議の上で決定するものとする。